

2025年の 未来に向けて

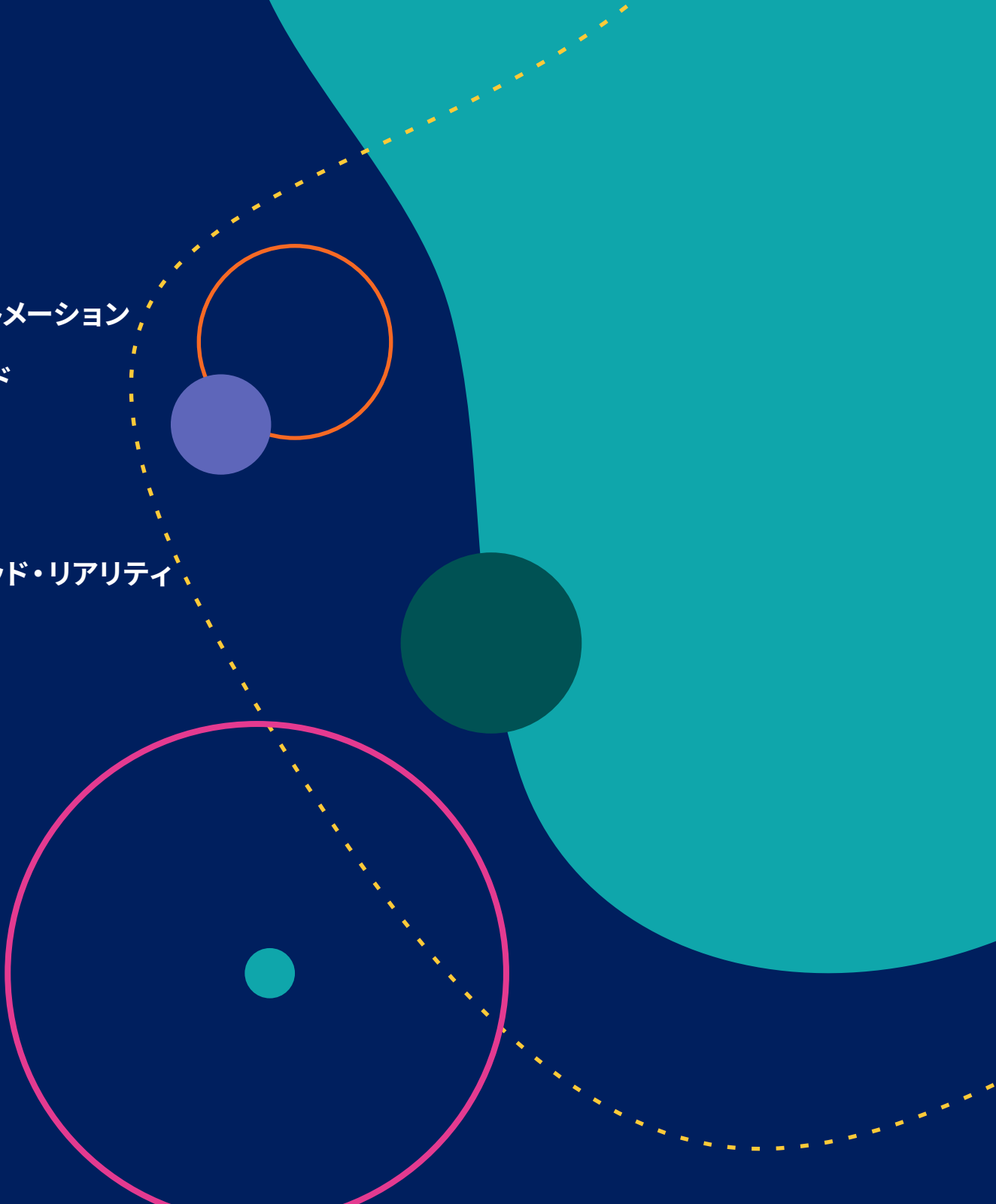
テクノロジー動向レポート

ハイパーオートメーションからエクステンデッド・リアリティ:
ビジネス環境を大きく変える5つの最先端テクノロジー

Pegasystems、2021年



目次

- 01 エグゼクティブサマリー
 - 02 トレンド1 ハイパーオートメーション
 - 07 トレンド2 分散型クラウド
 - 12 トレンド3 AIガバナンス
 - 16 トレンド4 拡張エッジ
 - 20 トレンド5 エクステンデッド・リアリティ
 - 24 まとめ
 - 25 調査方法
- 
- A decorative graphic on the right side of the page. It features a large teal circle at the top right, a smaller purple circle in the middle, and a large pink circle at the bottom. A dashed yellow line curves through the scene, passing behind the purple circle and the pink circle. There is also a small teal circle at the bottom center.

エグゼクティブサマリー

テクノロジー、商業的圧力、ビジネスと消費者のダイナミクスの結びつきは、私たちの働き方、取引の実行方法、そして日常生活の管理の仕方を変えようとしています。このような変化は至る所にあり、目を見張る変化となっている場合もあります。企業はこのペースについて行けるでしょうか。さらに、ペースメーカーになれるでしょうか。

この基本的な疑問の答えを知るため、Pegaは5つの異なるテクノロジートレンドとそれらが複数の業界に与える影響について調査しました。本レポートでは、定量的な調査データと回答者からのフィードバックを解析し、主要セクターのリーディングカンパニーが現在、デジタルテクノロジーをどのように活用し、未来に備えているかを明らかにします。これは現在進行中のテクノロジーの変化のスナップショットであり、変化と破壊的イノベーションにおいてリーダー企業としての地位を築き、将来の成功を実現させるのに役立つ本質的なインサイトが含まれています。

調査対象の5つのテクノロジートレンド:



ハイパーオートメーション



分散型クラウド



AIガバナンス



拡張エッジ



エクステンデッド・リアリティ



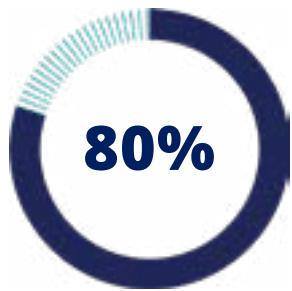
トレンド1

ハイパーオートメーション

ハイパーオートメーションで、 望ましい破壊的イノベーション を実現

ハイパーオートメーション:人工知能(AI)、機械学習(ML)、
ロボティックプロセスオートメーション(RPA)などの最先端
テクノロジーを活用して、業務プロセスを自動化し簡素化
する。

ハイパーオートメーションにおけるリーダー企業とフォロワー企業の違いは、結局のところ会社内で簡単な導入をいくつ成し遂げてきたか、という点に行きつきます。ハイパーオートメーションの一角を占めるRPA(ロボティックプロセスオートメーション)の市場規模は、2023年までに120億ドルに達するとフォレストラー社が予測しています。リーダー企業は日常業務のITチケットやデータ処理タスクなど単純なプロセスの80%を自動化しているのに対し、フォロワー企業は基本的なプロセスの20%しか自動化していません。¹



リーダー企業が自動化するのは
単純なプロセスの80%

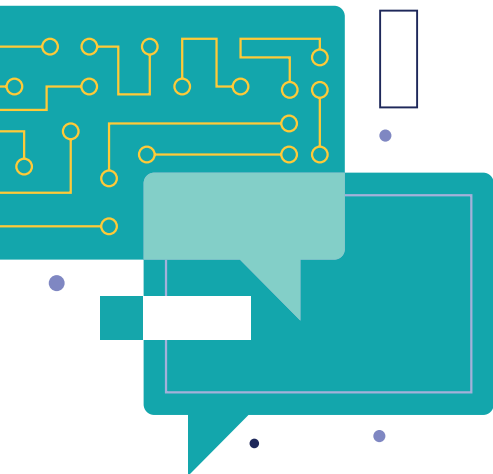


フォロワー企業が自動化するのは
単純なプロセスの20%

「ハイパーオートメーションの支援により、
例外管理、効率、顧客
体験が向上します。」

英国を拠点とする金融サービス企業の
執行役員





当社の調査結果では、全体的にリーダー企業が、オートメーションのベンダーエコシステムのサイバーセキュリティに対する影響や、データ使用や保存のコンプライアンスプロトコルに対して及ぼす影響について新たな懸念を抱いていることが明らかになっています。多くの回答者は、このテクノロジーが企業の従業員、顧客、ベンダーとの関わり方を混乱させる可能性があることに懸念を示しています。

破壊的イノベーションのトレンドは有利にも不利にも働きます。企業ネットワークがパートナーのエコシステムとリンクしたり、重複したりしている分野では不利になります。ただし、リーダー企業はかなり有利なスタートを切ることができます。ハイパーオートメーションがパートナーのエコシステムに影響を及ぼしているとの回答は全体の5分の1に満たないものの、**55%は今後5年以内にその影響があると予想しています。**

ハイパーオートメーションは生産、データ管理、経理、ワークフローにも影響します。導入の成功は、業務とプロセスの一貫性を維持することにかかっています。コロナウイルスの大流行などの激変により、企業が新しい自動化されたソリューションを迅速に開発する必要がある場合でもこの点に変わりはありません。ブラジルの金融サービス会社の回答者は次のように述べています。「ソリューションは継続的に開発していかなければなりません。この危機の中で、人材の確保に投資がなされない時期は特にそうです。アップデートで自動プロセスが影響を受けたり、データ形式が変更されたりしないように、テストには細心の注意を払う必要があります」。



多くの回答者は、オートメーションへの移行が、顧客のサポートにどのように役立つのかということに常に考えています。多くの企業では例外事象を切り分け、顧客やベンダーとの契約をもっとパーソナライズされたものに、かつダイナミックに変更するために自動化ソリューションを導入しようとしています。



請求書の発行や支払いなどのワークフローを効率化する自動化により、コストや冗長性を削減できる可能性があります。これにとどまらず、回答者たちは自動化とビジネス成果をリンクする戦略が差別化要因になると考えています。自動化により、企業の人員に及ぼす継続的な影響についてのインサイトを得られる可能性があるからです。AIで発生する例外事象を管理する作業は、経理など自動化がすでに浸透している部署においても、引き続き重要な作業となります。データフロー、アクセス、ストレージを管理するアーキテクトやAIガバナンスの専門家は、あらゆる業界で価値を提供し、オートメーションで新しいネットワークの構築や分散型クラウドの導入を支援します。

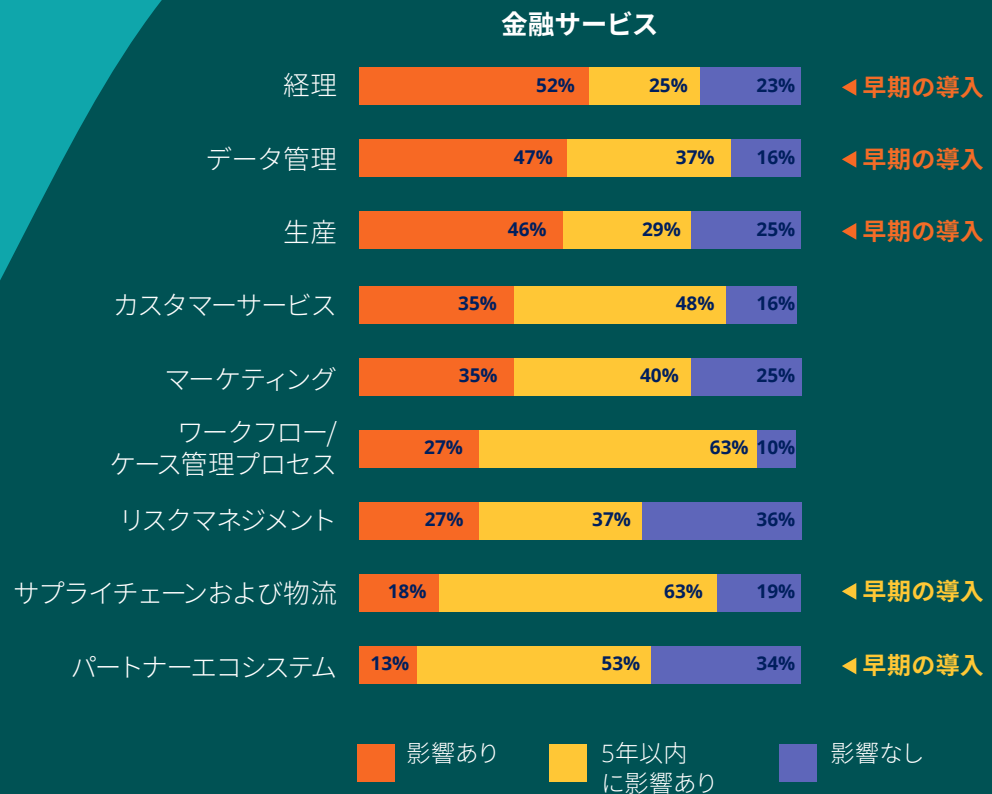
回答全体において、ハイパーオートメーションによる以下の影響が業務の末端にまで及ぶ、ということが顕著なトレンドとして示されています。

- 混乱や標準からの逸脱を最小限に抑えつつ、供給業者、顧客、およびパートナーにより破壊的イノベーションのメリットが共有される。
- マーケットがテクノロジーの加速を求める場合においても、テクノロジーの導入により企業の共有エコシステムが強化される。
- リーダー企業はオートメーションを適用して、業務や顧客体験の中の例外事象や改善点を特定し、集中できるようになる。



金融サービスのリーダー企業はデータ管理、経理、および生産の分野で早々と勝利を収めてきました。次はどの分野でしょうか？パートナーエコシステムとサプライチェーンに展開がありそうです。

ハイパーオートメーションが現在影響を与えている、あるいは5年以内に企業に影響を及ぼすと思われる分野を挙げてください。





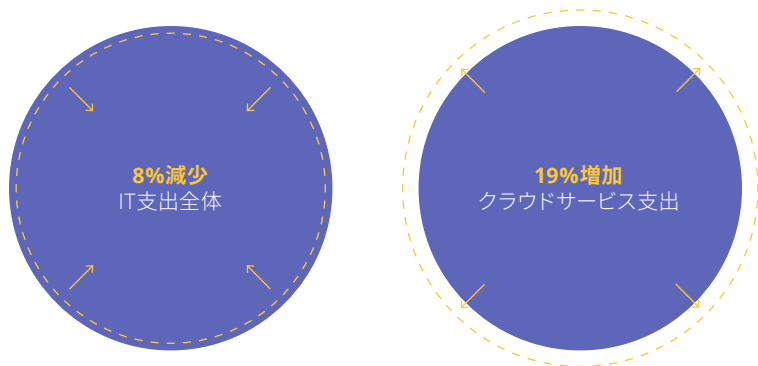
トレンド2

分散型クラウド

拡大するアプリケーションネットワークを巧みに(かつ安全に)統合

分散型クラウド:クラウドコンピューティングにより、業務オペレーション、サービス、および管理アプリケーションを集中型データセンターだけでなく、エッジデバイスやサードパーティのデータセンターのネットワークなど、必要な場所で利用できるようになります。

クラウド導入が爆発的に進んでいます。ガートナーの計算によると、2020年に**世界のIT支出が8%減少したものの、クラウドサービスへの支出は19%増加しました²**。当社の調査でも、この傾向が明らかになっています。アンケート回答者の73%は、リモートワークやモバイルワークのトレンドが、クラウドの導入がビジネスにおいて極めて重要または優先度が高いと答えています。

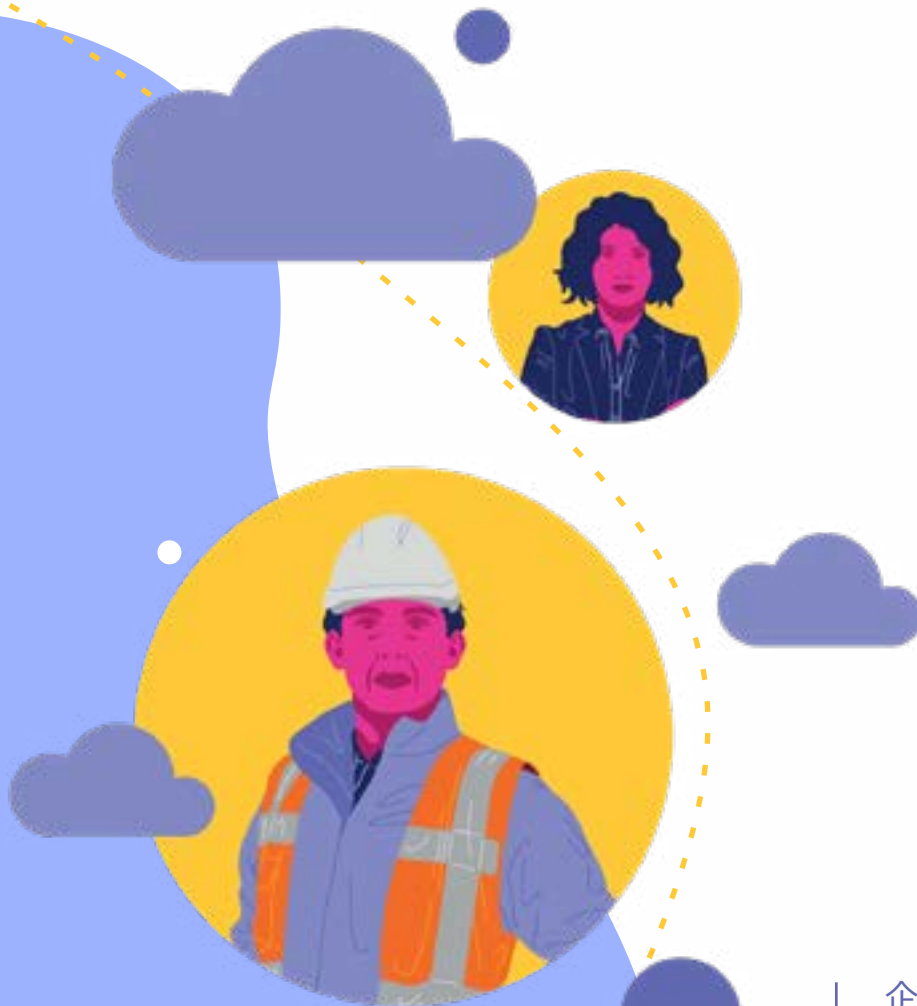


しかしながら、企業はデータの一貫性を保ち、導入の価値を最大化し、制御不能に陥らないようにすることができのでしょうか?この質問の答えによってリーダー企業になるか、フォロワー企業になるかが決まります。

「会社内部で安全に保存しておく必要があるデータや外部に保存することが許されていない、または適切でないと思われるデータがたくさんあります。」

英国を拠点とする金融サービス企業の執行役員





多くの業界でクラウド導入が加速しており、データセキュリティ、データ完全性、エンドポイントの問題に対処しています。クラウドに精通している企業でも、データをどこに保存するか、プライバシーをどのように確保してセグメント化するか、アクセス管理権限をどのようにメンテナンスするか、クラウドをどのように拡張するかという質問が生じています。あるヨーロッパの大学でITを担当している回答者は次のように述べています。「コロナ禍にもプラスの面がたくさんありました。データセキュリティとデータ送信の重要性が浮き彫りになりました」。

ただし、幅広く導入されているにもかかわらず、**分散型クラウドテクノロジーに「精通している」または「熟達している」との回答はわずか22%にとどまっています**。ロックダウンにより、企業は進化し続けるクラウドにさらに依存することになったため、接続性とセキュリティを強化するために、これらの導入のバックエンド、API、ITエンジニアリングに関心が高まりました。

業界のリーダー企業は、これらのソリューションで堅牢性を維持し、データの一貫性を高めることで、ビジネス上の優先事項に確実に対応できるようにしています。分散型オペレーションの拡大に伴う潜在的な課題を予測している企業にとっては、セキュリティは大きな問題にはなりません。

企業の事業部門でクラウド導入を活用し、**資産と現場のサイロを相互接続することもできます**。ヨーロッパの製造企業の執行責任者である回答者は、高度に分散化された企業内でクラウドを活用してデータを同期する機会に注目しています。



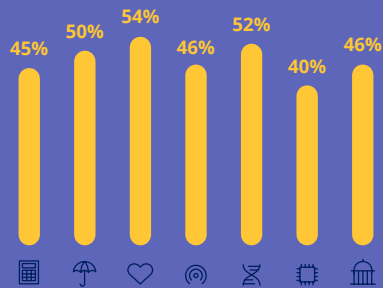
ほとんどのマーケットや地域で、大手クラウドサービスプロバイダが席巻すると予想されるものの、一部の企業は引き続き固有のニーズに対応する中小クラウドプロバイダに依頼する可能性があります。インドの金融サービス会社のITプロフェッショナルは、政府が経済的インセンティブで国内のデータセンターを支援していると述べています。データの適正性とストレージに関するガバナンスプロトコルは、市場によっては企業が幅広いクラウドオプションから採用した方が簡単に導入できる場合があります。

全般的に、クラウド導入のリーダー企業は、次の問題に優先的に取り組んでいます。

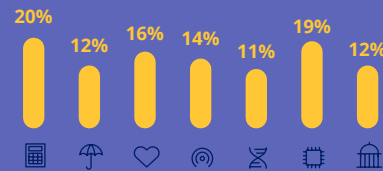
- データセキュリティと優先順位の設定に取り組み、ガバナンス戦略を策定する。
- 堅牢なデプロイメントとAPIにより、縦割り型の業務を連携させて価値を創出する。
- クラウドソリューションをセグメント化できるプロバイダと協力して、データストレージ、アクセス、およびセキュリティに関する企業独自のニーズと要件に対応する。

分散型クラウドで懸念されるのは 主にアクセス管理とセキュリティです。

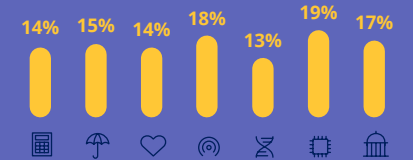
多くの企業が複数のクラウドソリューションを導入して俊敏性を高めている一方で、集中型アーキテクチャが依然として高速で効率的なため、バランスを取るのが難しい状況にあります。



クラウドの導入でアクセスセキュリティに関して新しい問題が生じる。



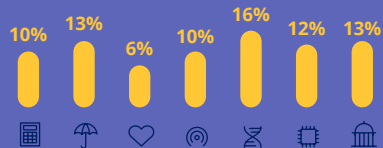
クラウドソリューションへの移行のメリットは感じているが、現在の業務がレガシーアーキテクチャに過度に依存している。



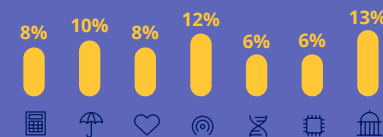
クラウドの導入で集中型アーキテクチャよりもデータ管理が難しくなる。

組織の課題として 最も当てはまるのは どれですか？

- 金融サービス
- リテール保険
- ヘルスケア
- 電気通信
- ライフサイエンス
- 製造
- 政府機関



クラウドの導入で俊敏性が高まっても、コンプライアンスや規制関連で複雑化する。



会社に複数のクラウドソリューションの導入を正当化するための十分な指標がない。



クラウドソリューションへの移行を管理するために必要なリソースやノウハウが不足している。



トレンド3

AIガバナンス

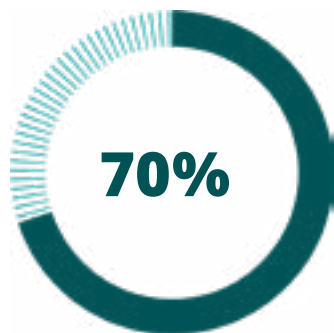


業界リーダーがAIガバナンスの基準を設定する

AIガバナンス: データ、AI、およびML機能を使用するための法律上、手続上、および運用上のガイドラインと標準の枠組み。これは政府の規制または業界標準や合意の確立など、外部によるガバナンスの進展が関係する場合があります。

AIを避けて通ることはできません。コントロールを統御する必要性についても同様です。最近行われた6か国の6,000人を対象としたPegaの別の調査では、回答者の70%がAIに恐怖心を持っていることが明らかになっています。大量の個人データを扱う分野、特にヘルスケアや金融サービスなどで、その傾向が顕著です。

ただ、フォロワー企業ではまだAIガバナンスの高い基準が設定されていません。回答者の65%は、AIの導入を管理するにあたり、外部によるガバナンスが不十分であると感じていました。すべての業種の回答者が、GDPR、中央銀行の指令、HIPAA、その他の規制の枠組みに準拠することの課題について述べています。

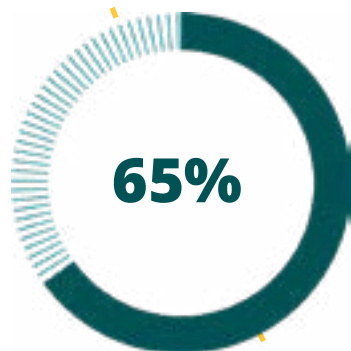


最近行われた6か国の6,000人を対象としたPegaの別の調査では、**回答者の70%がAIに恐怖心を持っていることが明らかになっています。**

「各業界で企業がAIを適切に管理することで、リスク緩和の先陣を切ることができます。今後政府から規制が入ると思われませんが、現状では企業に責任があります。」

ヨーロッパの製造企業の執行取締役





回答者の65%は、AIの導入を管理するにあたり、**外部ガバナンスが不十分であると感じていると述べています。**

ただし、規制だけのせいにはできません。

回答者の27%はAIガバナンスのリーダーを指名しておらず、製造、ヘルスケア、金融サービスの業界では内部のリーダーシップと公式の戦略に大きなギャップがあることが明らかになっています。このような外部統治の枠組みへの不満は、実際にはその自然な限界を示しており、企業は一步進んで包括的なガバナンスの枠組みを構築する緊急な必要性和責任を明らかにしています。

「AIガバナンスのリーダーになるためには、企業はAIアルゴリズムのソフトウェアが正しいか、アルゴリズムが倫理的かをチェックする必要があります」と、公共部門のIT役員は述べています。このため、企業は規制当局の基準を超えるガバナンス戦略を構築することが奨励されます。

ヨーロッパの金融サービス会社の執行取締役は、ガバナンスと良い評判という重なる2つの分野に取り組みました。「私たちは非常に多くの顧客データを扱っており、問題が発生すれば評判に傷がつくおそれがあるため、求められている以上のレイヤーを追加してチェックを行っています」。

パートナーエコシステムの拡大とその技術的課題は、AIガバナンスの高い基準を持つ企業にチャンスをもたらしています。「多くの企業が私たちや他の取引先をお手本に、データセキュリティと検証プロセスを導入しています」と別の金融サービス会社の回答者は述べています。

企業がデータとテクノロジーの善良な管理者としての信用を高めようとする中で、業界標準を超える成熟したガバナンス戦略を採用することにより、多くのパートナーシップで相互的な利益をもたらす可能性があります。金融サービス企業の回答者は、優れたガバナンスプロトコルがすでに重要な要素であることを認め、「私たちの意見に共感し、同じ基準の達成を目指す企業を探しています」と述べています。

しかし、誰がガバナンスのリーダーシップをとるのでしょうか? 技術的な専門知識と成果に基づいた戦略は、ガバナンスを最新の状態を保ち、新たな問題への対応力を高めるのに役立ちます。「AIは教師なし学習そのものです」と、インドに本拠を置く金融サービス会社のIT企業は回答しています。「間違いは必ず発生するため、業務部門とIT部門の両方がプロセスのガバナンスを強化する必要があります」。

当社の調査によれば、AIガバナンスのリーダー企業が、以下の原則に基づいて戦略を立案することが示されています。

- 業界固有のガバナンスを付加価値、および重要な差別化要因とする。
- 外部によるAI規制を企業の透明性に対する評価を確立するためのベースラインとする。
- リーダー企業としてパートナーシップを向上させる強力なAIガバナンスを持ち、トレンドを作り出していく。

調査対象のすべての業界でAIのガバナンスと規制が不十分になることが懸念されています。

業界規制が自社のオートメーションやAI機能に与える影響で一番気になることは何ですか？

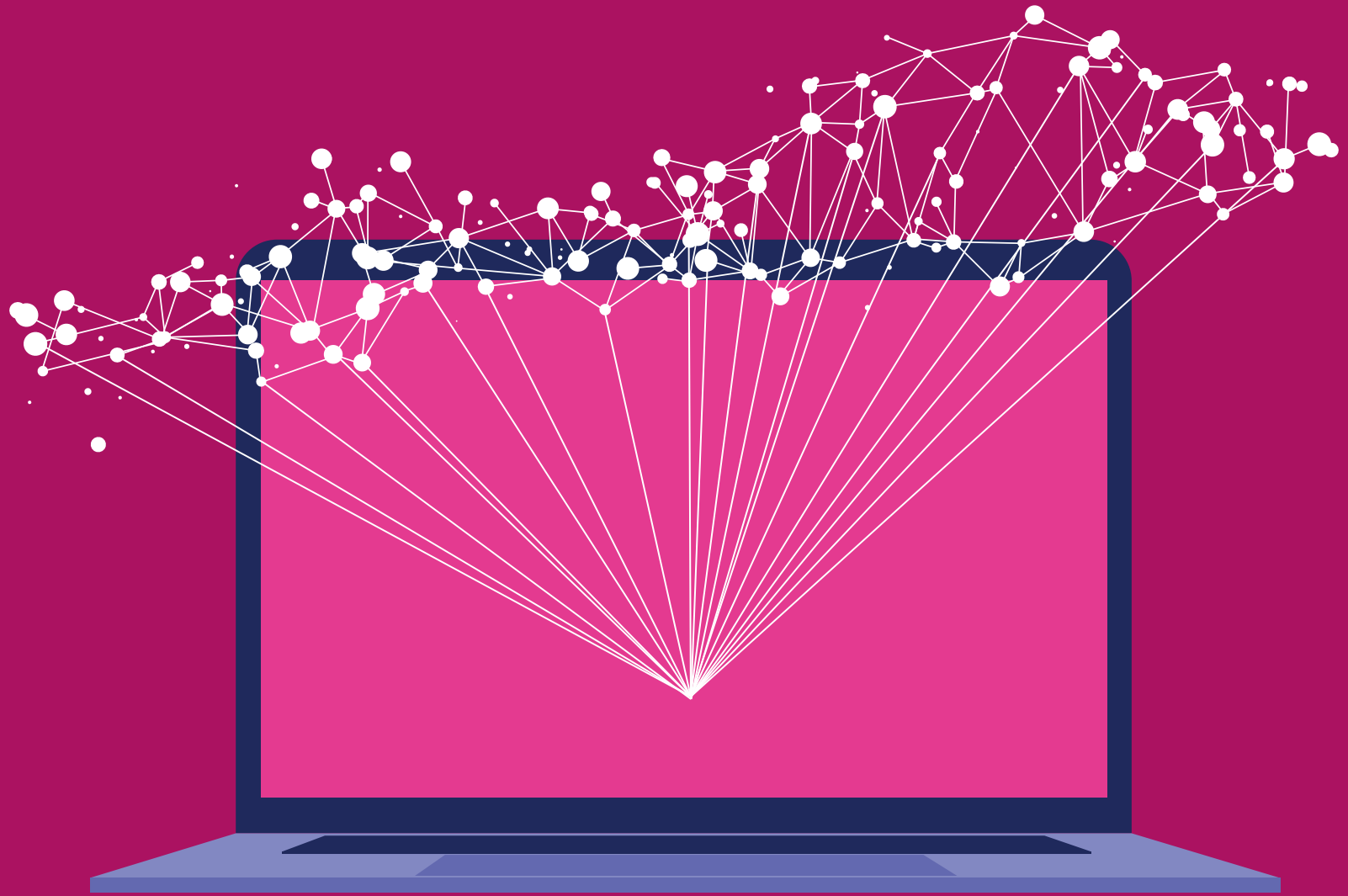
心配なのは規制によって...

... AIの導入が困難になるか、コスト高になること。

... AIの導入が管理不十分になること。

... AI機能に関するイノベーションが抑制されること。





トレンド4

拡張エッジ



拡張エッジを今すぐ導入する企業が利益を得る

拡張エッジ:企業ネットワークのエッジでデバイスやユーザー側の高度な機能や処理能力の向上を可能にするコンピューティングおよびストレージ機能。IoT(モノのインターネット)デバイスの普及は、このトレンドの重要な推進力となっており、多くの専門家は5G接続の普及によりさらにその勢いが増すと考えています。

世界のエッジコンピューティングの市場は堅調で、2019年には35億ドルの規模でした。IoT(モノのインターネット)オートメーションとクラウドコンピューティングの急速な発展に伴い、Grand View Researchは、2027年の世界の投資額は400億ドルを超えると予測しています⁴。この技術分野のリーダー企業は、いつ導入するかではなく、どのように導入するかについて考えています。



2027年には、エッジコンピューティングに対する支出が世界で400億ドルを超えると予想されています。

「必要は発明の母です。企業はこの目まぐるしく変化する現在の経済環境で関係性や競争力を維持するため、最先端の安全な技術ソリューションを提供できるよう懸命に取り組むでしょう。」

英国を拠点とする通信事業エキスパート





当社の調査の回答者のうち、**拡張エッジテクノロジーに「熟達している」と答えたのはわずか18%でしたが、96%は5年以内に少なくとも「導入開始」になると予想しています。**

このことは、まだジャーニーが始まったばかりの企業にとって、何を意味するのでしょうか？一部の業界は内部規格の変更や5Gの導入などの他のテクノロジーの推進によるゴーサインを待っている場合もあります。

他の回答者は、クラウドとエッジの間の現在の接続では導入は不可能であると述べています。**すべてのセクターの回答者の34%から50%の回答者は、導入が、オートメーション、AI、機械学習(ML)の成熟度の向上に依存すると回答しています。**21%から30%の回答者は、分散型クラウドを拡張エッジジャーニーの不可欠なステップとして挙げています。

ただし、多くの回答者にとって、パンデミックは良い意味での破壊的イノベーションとなっています。そのため、様子を見るという方法は選択肢にはありません。「コロナウイルス、ロックダウン、そして新しい制約がゲームチェンジャーとなり、拡張エッジの普及が進んでいます」と、ヨーロッパの製造業企業の執行取締役は述べています。

ヘルスケア、製造、小売業のビジネスケースでは、より多くのIoTテクノロジーが導入され、データの情報源に近いところで処理するために、拡張エッジの導入が必要とされます。また、クラウドとエッジ機能間の通信を増やす必要が生じ、5G接続が必要になるかもしれません。一部の企業では、5G接続の環境にならないために導入が数年遅れる可能性があります。ただし、APAC地域の製造企業のマーケティング担当役員は、接続ポイントが鍵になると考え、「クラウドに接続する場合は、高速かつスムーズに接続し、帯域幅を使いすぎないようにする必要があります」と語っています。

5Gや他のテクノロジートレンドの進展により、一部の企業は拡張エッジを推進するようになるかもしれません。**この分野のリーダー企業は、以下の目標に向けて行動することで、地位を確立し、他社に先駆けて価値を実現することができます。**

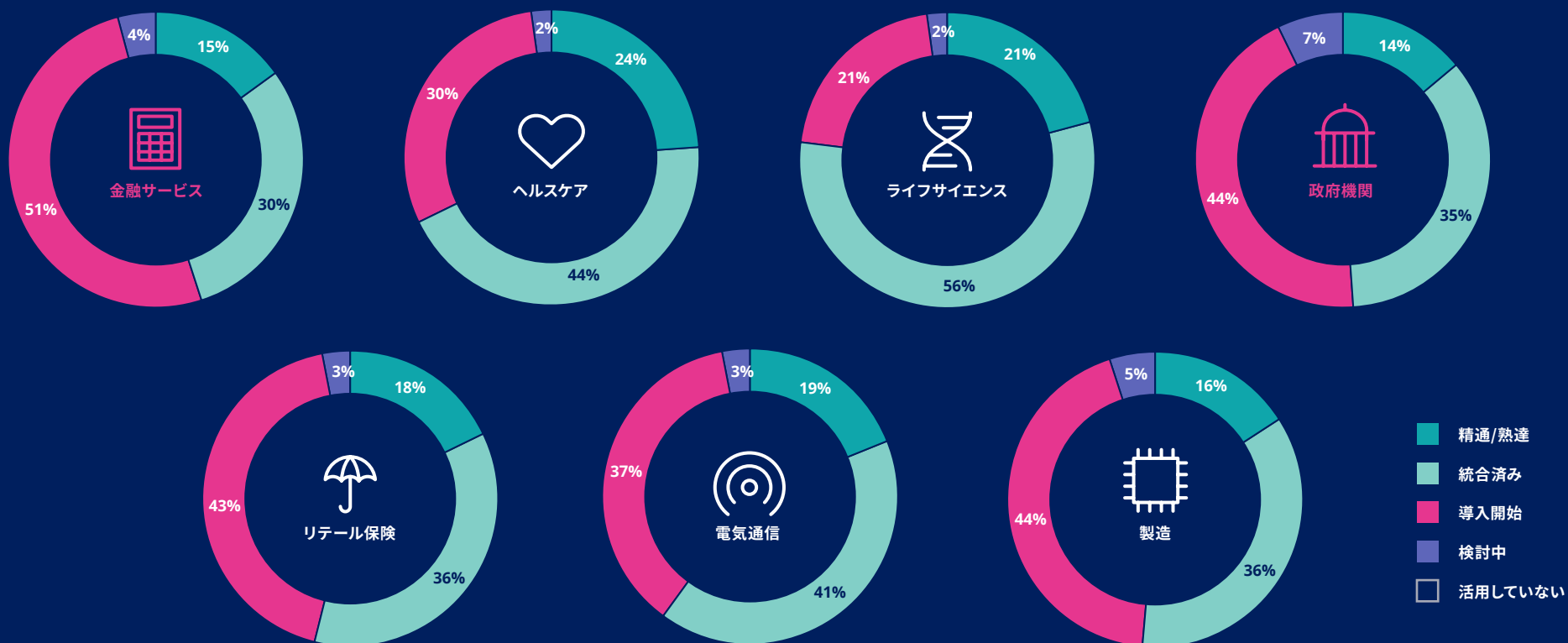
- 戦略的なオートメーションと分散型クラウドの導入により、拡張エッジを推進する機会を探る。
- IoTプラットフォームとデプロイメントによりもたらされる機会を活用する。
- 5G接続で価値を掛け算で実現し、設備をネット接続することでもたらされる潜在的な価値について戦略を立案する。





金融サービスと政府機関は、拡張エッジの導入を加速させる必要性について報告しています。

全回答者のうち少なくとも91%が、5年以内に「導入開始」、「統合済み」、「精通/熟達」になると予想しています。
拡張エッジテクノロジーは5年以内にどの程度成熟すると思いますか？



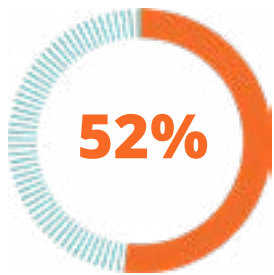
トレンド5

エクステンデッド・リアリティ

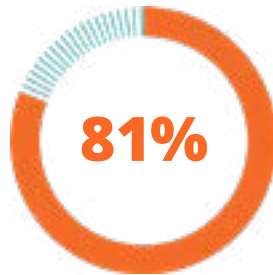
ダイナミックな顧客体験を提供する エクステンデッド・リアリティ

エクステンデッド・リアリティ(XR):拡張現実、仮想現実、および混合現実テクノロジーの組み合わせとその進化系。XRでは、現実と物理的な状態をシミュレートし、深い没入感のある「現実世界」体験を創出できます。

エクステンデッド・リアリティ(XR)には、今でも未来を感じさせるユースケースがたくさんあります。ガートナーは、全企業の3分の1が2021年までにXR機能を含む多次元エクスペリエンスを開始すると予測しています。本格的な現実のシミュレーションの到来はもう少し待たなければならないかもしれませんが、フォロワー企業がこのテクノロジーの影響を見逃すことは命取りになります。



全回答者の52%が、今後12か月以内のXRのパイロット導入または完全導入を予想しています。



回答者の81%が、5年以内にXRが必須または重要な差別化要因になると予想しています。

「マーケットを分析して、ユースケースから情報を得ることで、もっと多くの仕事をこなすことができます。技術者はマーケットよりもテクノロジーに集中してしまう傾向があります。」

ヨーロッパの政府機関のIT役員



XRはまだ発展途上の段階にあります。**回答者の35%が、XRにより顧客体験を提供する方法が変わると考えており、41%はマーケティング手法が変わると考えています。ただし、導入予算について積極的な検討を行っている回答者はわずか12%でした。**すべてのセクターで、5年後にはXRがカスタマーエンゲージメントに大きな影響を与えると予測されており、比較的小さなインパクトとはいえ業界のマーケティングにも影響を与えると考えられています。しかし、そこまでの道のりはどのようなもののでしょうか？

今回の調査における他のテクノロジートレンドの成熟度を調べることで、XR導入の準備度を見極めるのに役立ちます。一部の回答者は、XRの導入にはコストがかかるため、慎重な対応をしていると述べました。他の回答者たちはハイパーオートメーションと拡張エッジにより、カスタマージャーニーの新境地が開拓されると述べています。アプリケーションでいくつかのテクノロジーを集約する必要がありますが、多くのリーダー企業はXRの潜在的なインパクトを考えて楽観的に見ていると同時に行動の理由にもしています。

政府機関のIT担当の回答者は、パンデミックの影響を受けてカスタマーエンゲージメントや支援活動でシミュレーション体験の導入を検討することになったと話しています。小売、製造、ヘルスケアの業界でも、顧客に競争優位性を提供したり、予知保全や従業員教育などの業務を可能にしたりすることで、その恩恵を受けることができます。「設備の導入でコストが増加しますが、設備を利用することには多くの利点があります。コストと比較してメリットが大きいのです」と政府機関の回答者は言います。

業界のリーダー企業は、次に最良のユースケースを特定し、どれが十分な価値をもたらさない可能性が高いかを判断する必要があります。「私たちの業界では、技術者のタッチアンドフィールが重要です。バーチャルリアリティは素晴らしいのですが、触ったり感じたりすることができません」と、APACでメーカーのマーケティングを担当している回答者は述べています。

EMEAのメーカーのIT役員は、潜在顧客を獲得するために、テクノロジーのトレンドを注意深く見ることが重要と述べています。5Gで消費者が大量のデータをダウンロードできるようになるように、XRとAIを組み合わせると、はるかにダイナミックなつながりが生み出されます。「緻密にパーソナライズされたマーケティングソリューションには、非常に大きな可能性があります」。

XRが具体化するにつれ、業界のリーダー企業は以下のように市場にフォーカスして早期に勝利を収める可能性があります。

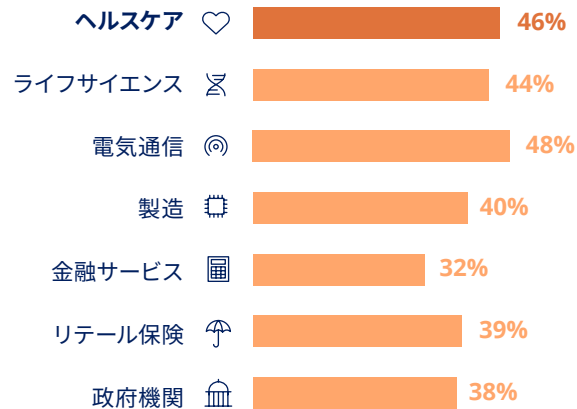
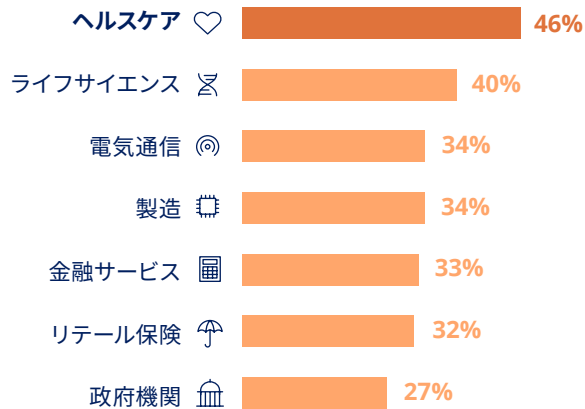
- ハイパーオートメーション、分散型クラウド、拡張エッジ機能に集中投資する。
- まったく新しい体験を提供するビジネスケースを模索する。
- テクノロジーが成熟するのを待たずに、初期段階で価値のある活用法を見つける。

調査対象の中で、マーケティングや顧客体験でXRが最も劇的な効果をもたらすのはヘルスケア業界であると報告されています。

貴社の業界で2020年のXRテクノロジーの重要性を最もよく表現している文章は次のうちどちらですか？

XRが業界の顧客体験の提供方法を変えている

XRが業界のマーケティング手法を変えている





リーダーになりましょう。 今が2025年であるかのように 行動しましょう。

テクノロジーは待ってはくれません。市場の圧力やビジネスチャンスにより、自動化機能やクラウド機能が急速に発展し、企業エッジが多数のプラットフォームや遠隔ネットワークに参加するようになっていきます。多くの国の7つの業界の何百人もの回答者からのフィードバックを1つのテクノロジー原則にまとめると、次のようになります。**リーダー企業は待つことをしません。**

ただし、リーダー企業の行動は慎重でもあります。デジタル進化に系統的にアプローチし、基本的な導入で小さな成功を収めた後に、もっと大きく複雑なプロジェクトに進みます。企業はしっかりした戦略、ツール、パートナーシップを持つことにより、5つのトレンドのベクトルに合わせて前進し、2021年、2025年、そしてその先も新たな勝利をもたらすことができます。

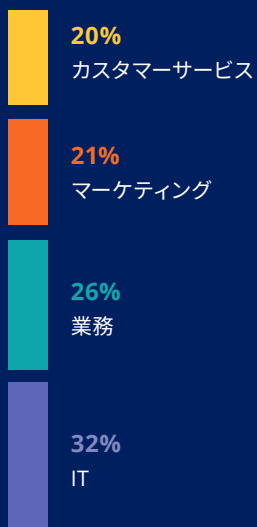




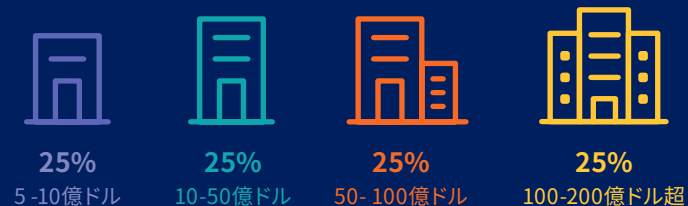
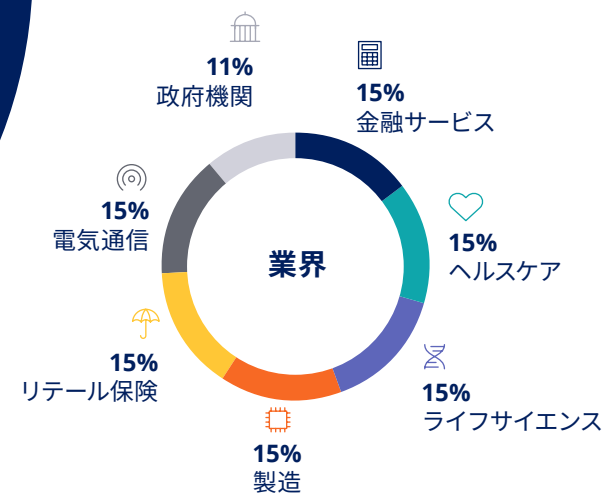
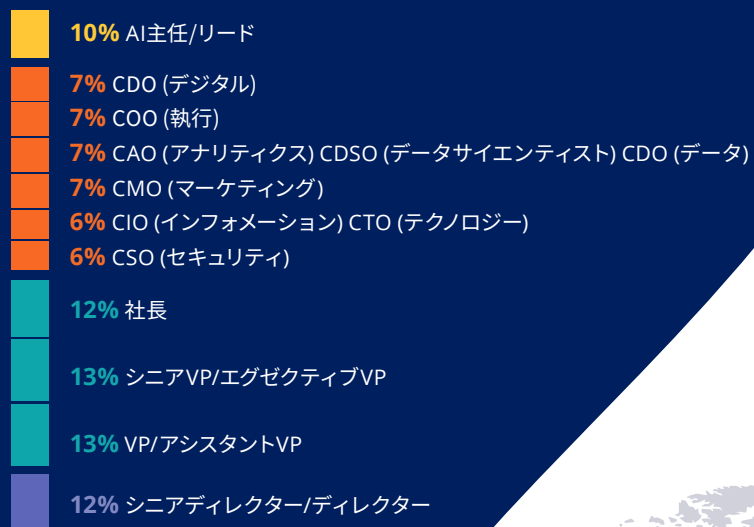
調査方法

この調査を行うにあたり、Pegsystemsは、複数の視点を企業の枠組みに含めています。5種類のテクノロジートレンドについて異なる視点を持ち、様々なスキルセットで情報を取得している複数の回答者に意見を聞いています。

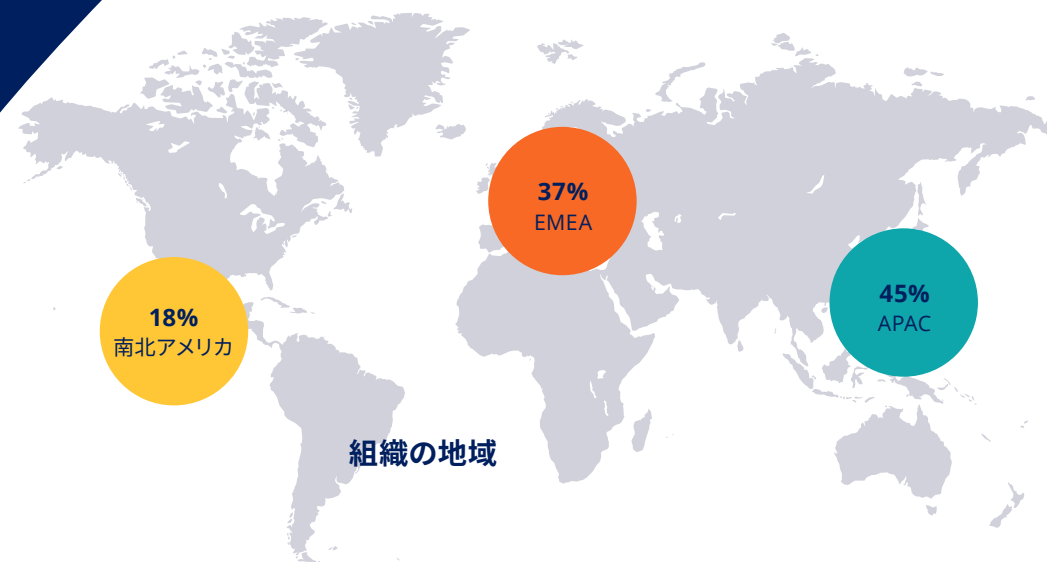
職種



役職



企業収益



組織の地域

出典:

1. Forrester, "Predictions 2020: On The Precipice of Far-Reaching Change."
2. "Gartner Says Global IT Spending to Decline 8% in 2020 Due to Impact of COVID-19," May 13, 2020.
3. Pega, "Artificial Intelligence in Business: Balancing Risk and Reward."
4. Grand View Research, "Edge Computing Market Size, Share & Trends Analysis Report By Component (Hardware, Software, Services, Edge-managed Platforms), By Industry Vertical (Healthcare, Agriculture), By Region, And Segment Forecasts, 2020 - 2027," March 2020.
5. Gartner, "Top 10 Strategic Technology Trends of 2020."



Pegasystemsについて

Pegaは、ビジネスの複雑性を解消する革新的なソフトウェアを提供しています。顧客の生涯価値の向上から、効率を高めるためのサービスの合理化まで、Pegaは世界の主要ブランドが問題をすばやく解決し、未来に向けた変革を成し遂げるお手伝いをしています。Pegaのお客様は、リアルタイムAIとインテリジェントオートメーションにより意思決定の質を高め、成果を生み出しています。1983年以来、Pegaは、急激な変化の中で勝ち残るための拡張性のあるアーキテクチャとローコードプラットフォームを構築してきました。Pegaのソリューションは多くの人々の時間を節約し、クライアントの従業員と顧客がより重要な業務に専念できるようお手伝いします。